



特定非営利活動法人 あきたパートナーシップ

ニュースレター

Vol. 135

北海道・東北ブロック NPO支援センターと所轄庁との意見交換会が開催されました。

去る11月8日(水)、秋田市のにぎわい交流館を会場に北海道・東北地区のNPO支援センターと秋田県の地域の元気創造課など、同管内でNPO法人を認証する所轄庁職員との意見交換会が開催されました。元々は所轄庁と内閣府など行政の担当課長会議として定期的に行われていたものですが、昨年からはNPO支援センター等で組織するNPO法人会計基準協議会の情報交換会と同時に開催されています。前半はそれぞれ別室で会議を行い、後半はNPO支援センターと所轄庁が合流して、法改正に関する対応や会計基準の普及などについて意見交換や質疑応答をしながら、お互いの理解を深め、連携を進めるための貴重な機会となっています。

前半のNPO法人会計基準協議会主催のNPO支援センターの情報交換会では、最初に北海道と東北6県から参加した各センターの職員から自己紹介を兼ねて近況報告がなされ、その後、NPO法人会計基準協議会の事務局長である「認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ」代表理事の横田能洋氏から、2011年のNPO法改正の際に採用されたNPO法人会計基準に関して、その後の経過の説明と見直しが必要と思われる部分の一部改正を目指して、現在パブリックコメントを募集している旨の説明がありました。具体的には、クレジット寄付やクラウドファンディングなど新しい形の寄付の普及による受取寄付金の認識と計上方法の統一性に関することや役員報酬の財務諸表及び注記への表記方法の変更に関する事例が紹介され、出席者による意見交換が行われました。そのほか、2016年のNPO法改正に伴う貸借対照表の公告の方法や内閣府のポータルサイトに関すること、そして、各センターの会計の支援体制を強化するため、担当職員の育成や会計サポーターの養成などに取り組むキャンペーンを実施することについて意見交換と情報共有を行いました。

後半は、NPOが所轄庁の会議に合流し、NPO法人会計基準協議会の東北地区の座長である認定NPO法人「杜の伝言板ゆるる」代表理事の大久保朝江氏が、協議会の概要についての説明と当該意見交換会の目的がNPO支援センターと所轄庁が連携を強化することによって、各地域のNPOの信頼性向上と基盤強化を図ることを目的とすることを確認してから、意見交換に入りました。今回の主な話題は、NPO法改正に伴う貸借対照表の公告の方法について、「主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する」場合は、どこまでが見やすい場所といえるのか、どういう場所が可で、どういう場所だったら不可なのかについて、各所轄庁の担当者から事例や意見を伺いながら、NPO支援センター職員と所轄庁の職員が情報を共有することができました。

会議終了後の懇親会は、秋田駅前の「かまくらの里」に場所を移し、北海道・東北地区のNPOと所轄庁の担当者がきりたんぼ鍋を囲みながら、秋田の地酒を酌み交わし、なまはげが乱入する中で、情報交換と親睦を深める良い機会になりました。あきたパートナーシップからは、畠山副理事長と代田、伊藤の3名が参加し、北海道・東北のNPO支援センターの職員や所轄庁の担当職員の方々との貴重な交流ができました。また、自分自身、何かと関わる機会が多い会計基準に関する最新情報や現在のNPOを取り巻く環境や動向を知る大変良い機会になりました。(伊藤惣孝)

あきたパートナーシップはNPO法人として、活動をはじめて15年になりました。設立当初の法人パンフレットを見てみると「市民が行政や他の民間団体などと、より良いパートナーをむすび、協働のまちづくりを通じて、市民参画社会を目指します」と書いてありました。

さて、それから、私たちの市民参画社会や協働のまちづくりはどれくらい進んだのでしょうか。今、秋田県は人口減少や少子高齢化に苦悩しています。全都道府県の中で少子高齢化が最も先行し、若者の都会への流出も止まりません。県民の多くは「このままでは秋田がなくなってしまう」と強い危機感を持っています。この、現状を解決させるのはとても難しいし、一筋縄ではいきませんが解決策はあるはずです。まずは秋田県民一人ひとりが自分事として考え、行動を起こすこと、そして、私たちNPOも本気でこの課題に取り組む必要があると思います。市民と一緒に課題に気づき、解決策を考え、実践する。現在の秋田の課題はいずれ、全国の課題になると言われています。私たち中間支援組織の役割はなんでしょう。15年前の目標にさらに「持続可能な社会に向けた地域づくりと、市民ひとりひとりが思いを持った持続可能で豊かな暮らしを実現させる。」を追加し、あきたパートナーシップが20年目をどう迎えられるか正念場です。

■職員の異動等について

- 4/1 異動 藤原 薫 (NPO派遣相談員→事業推進課兼共助支援員)
- 4/1 異動 宮崎 真紀 (事業推進課→NPO活動支援室)
- 4/1 異動 阿部 久美子 (総務課→総務課遊学舎会計担当)
- 3/31 退職 石野 泉 (NPO活動支援室)
- 6/30 退職 工藤 紘子 (総務課)
- 4/1 採用 大関 力 (地域協働連携推進事業・NPO派遣相談員)
- 6/15 採用 石井 樹理 (事業推進課)



この度、地域協働連携推進事業のNPO派遣相談員として採用になりました大関力と申します。男鹿市在住で以前は男鹿市観光協会で観光案内やガイド、NPO法人あきた地域資源ネットワークでは秋田県内のジオパークの推進・普及活動等に携わっていました。趣味は野球ですが、テレビ等での観戦が主でニワカ評論家気分を楽しんでいます。人と接すること、会話することは好きなので皆様とお会いできることを楽しみにしております。NPO派遣相談員として、一日も早く皆様の力になれるよう頑張りますのでよろしく願います。(大関力)

6月からあきたパートナーシップで働くことになりました石井樹理です。今までは販売や事務の仕事をしておりましたので、NPOで働くということに少し戸惑いはありましたが、職員の皆さんが親切に教えてくれるので安心しています。遊学舎では主に受付業務を担当していますが、お客様から気持ち良くご利用いただけるよう常に明るく笑顔でご案内できるように心がけたいと思っています。また、NPOのことも少しずつ勉強して、市民の皆様から信頼されるNPOの職員になれるようにスキルアップをしたいと思っています。(石井樹理)

《お知らせ》

- 12月9日(土)13:00~15:30 「遊学舎バルーン教室」/研修室2/参加料 500円
- 12月10日(日)13:00~16:30「秋田を元気にするプラン」提案コンテスト(あきた若者塾)/会議室
- 12月17日(日)10:00~14:00 遊学舎フリーマーケット/会議室
- 12月19日(火)19:10~21:00 「民謡の夕べ」~民謡を聞きましょう、歌いましょう!/会議室

